

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	伊藤 進（株式会社きんでん） 松本 祥孝（関西職業能力開発促進センター）
実施期間	2023年1月23日（月）～1月27日（金）
実施場所	カンボジア王国 プノンペン市 国立カンボジア高等工科職業訓練校（NPIC）
研修	競技課題採点・評価方法セミナー（AMM）
実施職種	情報ネットワーク施工

2023年3月

## 結果概要

1. 対象者数：受講者数 6名 / 修了者数 6名 / オブザーバー 4名

### 2. 日程

日時	指導内容
1月23日(月) 8:30~16:30 (全て現地時間)	① 開講式 ② 競技課題の説明 ③ 光課題の実施 ④ 光課題の評価
1月24日(火) 8:30~16:30	① メタル課題の実施 ② メタル課題の評価
1月25日(水) 8:30~16:30	① メタルスピードの実施、評価 ② 模擬競技の準備 <ul style="list-style-type: none"><li>● 競技ブースの設営</li><li>● 部材チェック</li><li>● 使用工具チェック</li><li>● 課題シート</li><li>● 評価シート</li><li>● 競技中の採点(安全作業等)</li></ul>
1月26日(木) 8:30~16:30	<模擬競技> <ul style="list-style-type: none"><li>● 受付</li><li>● 準備作業/練習</li></ul> ① メタルスピード(20分) ② 評価 ③ 光課題(60分) ④ 光課題の評価
1月27日(金) 8:30~16:30	<模擬競技> ① メタル課題(120分) ② メタル課題の評価 (※アンケート実施：受講者及び現地責任者) ③ 閉講式

### 3. 講評

<伊藤講師>

メーカーが絡めていないのが一つの大きな問題点である。機材、資材の調達にはやはりメーカーの協力は必要で、機材不足があだになっている。研修に参加している先生方は一生懸命で技術的なレベルも低くはない。ただ、競技大会開催に向けての意思はまだ弱いと感じた。

<松本講師>

課題に対しての技術は十分に持っている。また評価するスキルも持っている。評価シートも100点ではないが、70点ぐらいのレベルで身につけている。ただこの先自立していくには日本の支援を受け続

けるのは現実的ではない。機材、資材調達を含めて自立しなくてはならない。WorldSkills ASEAN Competition に出るにはプラス 10～20%の機材の導入が必要だと感じた。

#### 4. アンケート結果

◆受講者 6 名、オブザーバー 4 名（回答者 10 名）

満足度：	大変満足=8 人	満足=2 人
役立ち度：	大変役立つ=9 人	役立つ=1 人
継続期待度：	是非とも継続すべき=9 人	継続すべき=1 人
習得度：	大変そう思う=4 人	そう思う=6 人

【改善点・提案】

- ・研修の時間を増やして欲しい。（2）
- ・研修前に研修の部材や機器をカンボジアに届けて頂きたい。
- ・次年度の研修では、より深いレベルの光ネットワークに焦点を当て、無線通信など他の分野も含めてほしい。
- ・カンボジアでは材料や機器に限りがあるので、手に入るものに合わせて研修を行って頂きたい。
- ・この様な研修を受けられて満足している。今後もこのような研修を実施して欲しい。
- ・可能であれば、光ファイバ（核融合接続）融着機についてさらに練習する必要があると思う。

【意見・感想・実施希望】

- ・メカトロニクス、SCADA (Supervisory Control And Data Acquisition)システム
- ・産業制御システム、モバイルロボット
- ・オートメーションシステム、空気圧システム、プリント基板のはんだ付け(PCB Soldering)
- ・SCADA システム
- ・産業制御システム
- ・この研修は、ホームオフィスやビルにおけるネットワークの設置やメンテナンスに適していると思う。
- ・電子部品組み立て、配管システム、SCADA システム
- ・ネットワークケーブル管理、CCTV(Closed Circuit Television)設置トレーニング

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続期待度： 継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・可能であれば、9 月に研修を実施して欲しい。

【意見・感想・実施希望】

- ・プリント基板のはんだ付け